

# 議会だより

令和5年 12月定例会



第72回宇部まつり

## 本号の主な内容

### 令和5年 12月定例会

定例会概要・議決結果 .....	2
一般質問 .....	3
玉川ポンプ場施設見学会報告/本会議で賛否が分かれた議決事件 .....	10
常任委員会報告 .....	11
常任委員会行政視察報告 .....	14
お知らせ/編集後記 .....	16

# UBE 宇部市

未来を彫刻するまち

議会だよりは、目の不自由な方を対象に、「点字版」「音声版」を発行しています。希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

## 令和5年12月定例会概要

12月 6日	本会議 ・開会、会期の決定 ・宇部市選挙管理委員及び補充員の選挙 ・議案等の上程・提案理由の説明	14日	議会運営委員会 常任委員会（総務財政・文教民生・産業建設） 予算決算委員会分科会
8日	本会議 ・一般質問	20日	予算決算委員会後期全体会 ・各分科会会長報告、会長報告に対する質疑・討論・表決
11日	本会議 ・一般質問	22日	本会議 ・常任委員会委員長報告、質疑・討論・表決 ・議会運営委員会委員長報告、質疑・討論・表決 ・議案第113号及び第114号の上程・提案理由の説明、 質疑・討論・表決 ・閉会
12日	本会議 ・一般質問 ・議案等の委員会付託 予算決算委員会前期全体会		

## 令和5年12月定例会議決結果

付託先等	番 号	件 名	結 果
予算決算 委員会	議 案 第 87 号	令和5年度宇部市一般会計補正予算(第9回)	可決
	議 案 第 88 号	令和5年度宇部市介護保険事業特別会計補正予算(第2回)	
	議 案 第 89 号	令和5年度宇部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)	
	議 案 第 90 号	令和5年度宇部市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	
	議 案 第 91 号	令和5年度宇部市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)	
	議 案 第 92 号	令和5年度宇部市水道事業会計補正予算(第3回)	
	議 案 第 93 号	令和5年度宇部市交通事業会計補正予算(第1回)	
		報 告 第 5 号	専決処分を報告し、承認を求める件(令和5年度宇部市一般会計補正予算(第8回))
総務財政 委員会	議 案 第 94 号	宇部市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件	可決
	議 案 第 95 号	宇部市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件	
	議 案 第 97 号	宇部市災害派遣手当等の支給に関する条例中一部改正の件	
	議 案 第 98 号	宇部市基金の設置、管理及び処分に関する条例中一部改正の件	
文教民生 委員会	議 案 第 99 号	宇部市体育施設条例中一部改正の件	可決
	議 案 第 100 号	宇部市婦人相談員設置条例中一部改正の件	
	議 案 第 101 号	宇部市印鑑の登録及び証明に関する条例中一部改正の件	
	議 案 第 103 号	宇部市体育施設(宇部市楠若者センターほか3施設)に係る指定管理者の指定の件	
	議 案 第 104 号	宇部市渡辺翁記念会館に係る指定管理者の指定の件	
	議 案 第 105 号	宇部市文化会館に係る指定管理者の指定の件	
	議 案 第 106 号	宇部市総合福祉会館に係る指定管理者の指定の件	
	議 案 第 107 号	宇部市多世代ふれあいセンターに係る指定管理者の指定の件	
	議 案 第 108 号	宇部市障害者生活支援センターに係る指定管理者の指定の件	
	議 案 第 112 号	宇部市国民健康保険条例中一部改正の件	
産業建設 委員会	議 案 第 102 号	宇部市都市公園条例中一部改正の件	可決
	議 案 第 109 号	宇部市メディカルクリエイティブセンターに係る指定管理者の指定の件	
	議 案 第 110 号	工事請負変更契約締結の件(宇部市新庁舎2期棟新築(電気設備)工事)	
	議 案 第 111 号	工事請負変更契約締結の件(宇部市新庁舎2期棟新築(機械設備)工事)	
議会運営 委員会	議 案 第 96 号	宇部市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例制定の件	可決
総合審議	議 案 第 113 号	令和5年度宇部市一般会計補正予算(第10回)	可決
	議 案 第 114 号	令和5年度宇部市水道事業会計補正予算(第4回)	

# 一般質問一覧

## 4ページ

### 1 射場 博義 (チーム創生)

- ① ANAクラウンプラザホテル宇部の閉鎖(2024.3.31)に向けた本市の対応と閉鎖後のホテルサービス業継続の可能性について
- ② スタートアップやオープンイノベーションの取組について

### 2 吉松 剛 (誠和会)

- ① 宇部市営バスの運転士について
- ② 宇部市所蔵の美術品について

### 3 青谷 和彦 (令心会)

- ① 宇部市地域学童保育事業について
- ② 不登校児童生徒について

## 5ページ

### 4 時田 洋輔 (日本共産党)

- ① 宇部市公文書等管理条例(素案)について
- ② 宇部市楠こもれびの郷の指定管理者の協定違反について

### 5 芥川 貴久爾 (令心会)

- ① 社会教育と地域コミュニティについて
- ② いつでも肯定叱らない教室について

### 6 新村 秀雄 (公明党)

- ① 宇部市の防災減災対策について

## 6ページ

### 7 五十嵐 仁美 (日本共産党)

- ① 公立保育園の保育士の給食について
- ② ヤングケアラーの支援について
- ③ 国民健康保険料の均等割について



【質問1番～7番】

スマートフォン等で読み取ると質問の動画を視聴することができます。

## 8 甲谷 理温 (公明党)

- ① クラウドファンディングについて
- ② 宇部市のアプリ充実について
- ③ 宇部市が管理するキャンプ場について

## 9 荒川 憲幸 (日本共産党)

- ① 少子化対策・子育て支援策について
  - ② 宇部市有機農業推進計画について
- ※欠席のため質問ができず、記事の掲載はありません。

## 10 林 豊廣 (清志会)

- ① 海岸の環境保全について
- ② ため池の管理について

## 7ページ

## 11 松岡 伸一 (公明党)

- ① オストメイトへの給付基準額の増額について
- ② 宇部市の不登校児童・生徒に対する取組について

## 12 眞宅 宣昭 (清志会)

- ① 宇部アーバンスポーツフェス及びトキワストリートについて
- ② 児童生徒の体力向上について
- ③ 小中学校適正規模・適正配置と地域コミュニティの在り方について
- ④ 宇部市立図書館の子どもの読書活動の推進について

## 13 早野 敦 (令心会)

- ① 宿泊・コンベンション施設誘致対策室の現状の取組及び今後の見通しについて
- ② 事業承継の取組及び成果について
- ③ 市職員による生活保護費の横領についての経緯と対策について

## 8ページ

## 14 岩村 誠 (チーム創生)

- ① アートによるまちづくりについて



【質問8番～14番】

スマートフォン等で読み取ると質問の動画を視聴することができます。

## 15 鴻池 博之 (公明党)

- ① HPVワクチンのキャッチアップ接種について

## 16 城美 暁 (チーム創生)

- ① PTA組織について

## 9ページ

## 17 笠井 泰孝 (清志会)

- ① ふるさと納税制度の改正に対する市の対応について
- ② 市職員採用について
- ③ 農業の担い手の確保・育成について
- ④ 市史編さん事業の進捗状況について

## 18 木原 大介 (令心会)

- ① 宇部市役所窓口の受付時間短縮について
- ② ときわ動物園の運営について
- ③ クルーズ船誘致について

## 19 西村 享平 (清志会)

- ① 休日・夜間救急診療所について
- ② TOKIWAファンタジアについて

## 10ページ

## 20 三好 保雄 (無所属/参政党)

- ① 宇部市の新型コロナワクチンの接種状況とワクチンに対する考え方について
- ② 学校給食について



【質問15番～20番】

スマートフォン等で読み取ると質問の動画を視聴することができます。

(太字の項目は次ページ以降に詳細を掲載)



チーム創生 射場 博義

### 宇部市の将来に向けて

**Q** ANAクラウンプラザホテル宇部の閉鎖による影響への取組と今後は

**A** 閉館の影響を最小限に留めるため、市内へ宿泊・コンベンションを誘致するための支援策や、施設継承を促進するための支援策等について、具体策を令和6年度予算に反映していく。

**Q** ホテル継続については、民間所有であることから、市が後継事業者の決定等に直接の関わりを持つことは困難である。

**A** スタートアップやオープンイノベーションの取組状況とスタートアップエコシステムにおける本市の役割、今後の取組については

**Q** 将来的に非常に高い成長が見込まれ、新たな雇用の創出や、地元中小企業との連携による地域経済の活性化などに大きな期待を寄せている。

**A** 現在、61人の運転士が勤務。路線バスの運行に必要な定数は63人で2人不足している。「2024年問題」の影響で懸念される路線の廃止や減便を避けるためには現状より4人の確保が必要であり、バス運転体験会の定期開催や大型二種免許の取得費助成の増額、移住費の一部助成制度の拡充など、サポート体制を充実させている。今年度は給与面など、労働条件の見直しも進めており、将来の安定的な運行を目指し、若手の確保にも取り組んでいきたい。

**Q** 今後の研究開発の拠点強化に向けた取組への支援や、市内中小企業の成長産業分野への参入支援により、関連産業の集積に向けた取組を強化するなど、状況に応じた施策を適切に講じながら、取組をさらに加速化させていく。

**Q** 宇部産業や医療、バライオ分野における起業や市外中小企業による市内拠点の設置が実現



誠和会 吉松 剛

### 宇部市営バスの運転士及び宇部市所蔵の美術品について

**Q** 宇部市所蔵の美術品の数と保管方法、展示は

**A** 宇部市所蔵の美術品は、文化会館や学びの森くすのき、ときわ湖水ホールアートギャラリーの収蔵庫で温度・湿度を適切に管理した上で保管している。今後、市が所蔵する作品を鑑賞できる機会を計画的に提供していくとともに、作品鑑賞の楽しさを見出せる取組を行っていく。

**Q** 宇部市所蔵の美術品の数と保管方法、展示は

**A** 絵画や軸物、写真などの平面作品が約400点、野外彫刻やその模型など立体作品が約480点。特に保管に注意を要する美術品は、文化会館や学びの森くすのき、ときわ湖水ホールアートギャラリーの収蔵庫で温度・湿度を適切に管理した上で保管している。今後、市が所蔵する作品を鑑賞できる機会を計画的に提供していくとともに、作品鑑賞の楽しさを見出せる取組を行っていく。

**Q** 市民にとって欠かすことのできない重要な交通手段である路線バスの維持に全力を尽くしてほしい。

**Q** 新庁舎2期棟内に所蔵作品の常設展示スペースを作ってほしい。周辺にはできるだけ多くの野外彫刻を設置し、文化の薫るまちにふさわしい場所にして欲しい。



令心会 青谷 和彦

### 不登校児童生徒について

**Q** 10年連続で不登校児童生徒が増加し29万7000人を超えました。本市においても昨年度より93人増の331人となりました。

**Q** 日数別の不登校児童生徒の内訳は

**A** 不登校日数90日未満の児童生徒が約51%、90日以上が約49%、出席日数10日以下が17%であり大きな課題と捉えている。

**Q** 不登校の要因は

**A** 無気力や不安、生活リズムの乱れ等、本人に係るものが全体の約6割、親子の関わり方等、家庭に係るものが約2割、学業の不振や友人関係をめぐる問題等、学校に係るものが約1割となっている。

**Q** どのような支援を行っているか。

**A** 全ての中学校と東岐波、小羽山小学校に校内ふれあい教室を設置している。登校が難しい児童生徒は多世代ふれあいセンターに設置したふれあい教室で、専門支援員が、個別学習指導を心にきめ細かい支援をしている。

**Q** ほとんど家庭で過ごしている児童生徒に対する対応は

**A** オンラインによる授業提供や教員・スクールソーシャルワーカーなどが家庭訪問等を継続している。

**Q** 支援が届きにくい子どもに対する対応は

**A** 市長部局や福祉等の関係機関との連携を強化しながら、将来の社会的自立につながるよう支援している。

**Q** どのような支援を行っているか。

**A** どのような支援を行っているか。



日本共産党 時田 洋輔

### 宇部市公文書等管理条例 (素案)

**Q** 条例素案では、利用請求は「何人」もできるとしているが、情報公開条例は「市民」に限っている。矛盾が生じるので、情報公開条例の改正が必要だが、見解は

**A** 今後、必要があれば改正することになる。市民にとっての条例制定の必要性をどう考えるか。また、制定の目的は

**Q** 今回の素案は、指定管理者と宇部市の双方に問題がある。対応は

**A** 施設の清掃や消毒など衛生管理に対する指定管理者の意識や理解が不十分であった。宇部市としても、水質検査の結果の確認など施設の設置者として対応が不十分であった。宇部市と指定管理者が連携して、コンプライアンスや施設の衛生管理に関する研修を実施することにも、全ての浴室等の消毒等も行い、給湯管の改修などをすすめている。今後設置者である宇部市が主体となつて、指定管理者と緊密な連携を図りながら引き続き、衛生面と安全面の改善に取り組む。

**Q** 公文書は、市民共有の知的資源であることと市民が主体的に利用できることを前提に、公文書の適正な管理等を図ることに、市政が適正に運営され、また、現在及び将来の市民に対して説明責任を果たしていくことを目的としている。パブリックコメント等のご意見を踏まえ、市と市民共有の知的財産である公文書の適正管理の



令心会 芥川 貴久爾

### 社会教育と地域コミュニティ/いつでも肯定叱らない教室について

**Q** 社会教育は教育委員会、地域コミュニティは市長部局と、所管の部署が異なっており、また市内のそれぞれの地区において社会教育推進委員会、地区コミュニティ推進協議会が組織され、いづれの団体も地域が抱える様々な課題解決に向けて取組がなされている。地区によっては、構成員や活動も重複しているという点も聞いている。それぞれの地区の状況や意向に沿った組織づくりが検討できないか。

**A** すべての地区の関係者とも協議し、それぞれの地区により取組が違うが、それぞれの地区の特色を生かして、スクールにあった活動ができるように今後、協議して行く。

**Q** 「子どもを叱らず、いつでも良い点を見つけて評価する。海外発信のそんな取組が少しずつ広がる。伸び伸びと過ごしてもらっただけでなく、問題行動を減らす効果もある。本年度は一度も学校に来れない全欠の児童は一人もいない。」という埼玉県戸田市立喜沢小の取組を研究されるとい

**A** 宇部市においては平成28年から「まかせる・ほめる」うけとめる」を生徒指導における大切な実践を促している。なる3つの機能として日常的な実践を促している。紹介された事例については詳しくリサーチし、本市の生徒指導に取り入れることができないか検討をしていく。

**Q** 厚東川以西のうち、厚南エリアについては、甚大な浸水被害が発生した過去の経緯や地形的な脆弱さから「防災機能を高めてほしい」というお声や、また、市内の他地区と比べて人口減少が少なく、子供の割合も高いことから「子供達が遊べる広場を整備してほしい」というお声を、市政懇談会等を通じて多くいただいています。その要望に応え、令和4年11月に地区の代表と市の関係課で検討会を立ち上げ協議を重ね、現在の厚南体育広場の一部を、遊具と駐車場を備えた防災公園として再整備することとしました。整備内容としては、浸水時に周辺住民が緊急か



公明党 新村 秀雄

### 宇部市の防災減災対策について

**Q** 防災公園の設置に向けた進捗について伺います。

**A** 厚東川以西のうち、厚南エリアについては、甚大な浸水被害が発生した過去の経緯や地形的な脆弱さから「防災機能を高めてほしい」というお声や、また、市内の他地区と比べて人口減少が少なく、子供の割合も高いことから「子供達が遊べる広場を整備してほしい」というお声を、市政懇談会等を通じて多くいただいています。その要望に応え、令和4年11月に地区の代表と市の関係課で検討会を立ち上げ協議を重ね、現在の厚南体育広場の一部を、遊具と駐車場を備えた防災公園として再整備することとしました。整備内容としては、浸水時に周辺住民が緊急か

つ一時的に避難できるように地盤の高上げを行うとともに、防災倉庫・テントなどを設置します。さらに、乳幼児から小学生までが楽しめる遊具や休憩スペースを設置し、日頃から多くの子供達とその保護者が集う公園とすることで、防災意識の醸成にもつなげていくこととしています。令和6年度は、現地の土地調査、造成等に取りかかることも具体的な設備内容について、検討会の中で引き続き協議を進めていくことといたします。可能な限り早期の供用開始を目指します。厚南エリアの防災公園の早期完工を、お願い致します。また、本市の防災減災の更なる推進をお願い致します。



日本共産党 五十嵐 仁美

### 公立保育園の保育士の給食について

**Q** 今年度から公立保育園の保育士への給食提供を廃止したのはなぜですか。

**A** 食物アレルギーによる誤食の防止や食事の反応など保育士の見守りが必要とする園児が増加傾向にあるため、保育士が見守りに集中し、安心・安全な給食の提供を第一に考えたためと、アレルギー専用の給食を調理する職員の負担軽減のためです。

**Q** 保育士への給食提供がなくなっているから周囲の反応と保育士の昼食の現状はどうなっていますか。

**A** 保護者から「なぜ一緒に食べないのか」「保育園における食育の考え方について」お尋ねがいくつかあったので、職員に改めて説明会を行ったところです。保育

士は、各自弁当などを持ち参し、休憩時間にとっています。

**Q** 各保育園の園児数、職員数、調理員数、アレルギー対応数はどうなっていますか。

**A** 5園全部で、483人、136人、25人、28人です。

**Q** 各保育園の調理員数が妥当かを確認するために、各園の数を教えてください。

**A** 今、持ち合わせていません。

**要望** ある保育園では、園児77人、職員23人、アレルギー1人分を栄養士1人、調理補助1人で賄っています。市でも対応できないわけではありません。保育士が共に給食をとることは、食育には重要です。保育士の給食復活を求めます。



公明党 甲谷 理温

### クラウドファンディング／市のアプリ充実／オートキャンプ場について

**Q** 動物と共生するまちづくりと、野外彫刻修復の2つのクラウドファンディングが行われている。状況と今後は

**A** どちらも目標額に達成していない。募集期間を令和6年2月まで延長を行う。シティプロモーションとしての役割もあるため、特徴的、独自性の高いプロジェクトを選択する。

**Q** 動物と共生するまちづくりと、野外彫刻修復の2つのクラウドファンディングが行われている。状況と今後は

**A** どちらも目標額に達成していない。募集期間を令和6年2月まで延長を行う。シティプロモーションとしての役割もあるため、特徴的、独自性の高いプロジェクトを選択する。

**要望** ウェブサイトでタイムリーな情報公開を行うことで未来の投資へ繋げていただきたい。

**Q** 情報共有アプリないタイプへの状況は

**A** 今後、登録者数が多い「宇部市公式ライオン」に移行する予定。

**Q** 障害者手帳アプリ「ミライロード」の導入について

**A** 障害者などが気軽に外出できる環境づくりのため、利用範囲拡大を行う。

**Q** 主なキャンプ場の利用状況とオートキャンプ場化への考えは

**A** 利用は、キャンプだけではなくイベント等にも利用されている。ニーズ、費用対効果、地域住民の意見など、多角的な視点から検討を行う考えである。

**要望** 宇部市のキャンプ場を利用されていない愛好家の意見も重視していただきたい。

**要望** 宇部市のキャンプ場を利用されていない愛好家の意見も重視していただきたい。

**要望** 宇部市のキャンプ場を利用されていない愛好家の意見も重視していただきたい。



清志会 林 豊廣

### 海岸の環境保全／ため池の管理について

①海岸の環境保全について

**Q** 宇部市及び山口県が管理している範囲は

**A** 東岐波地区の高尾・永ヶ久保海岸と丸尾・床波・宇部岬漁港は市の管理、波雁ヶ浜海岸等その他大半の海岸は県の管理。

**Q** 漂着ごみの処理は

**A** 漂着ごみや自然災害ごみ等市民からの撤去要請の際は所管する海岸管理者に処理を依頼している。

**Q** 令和5年度の海岸清掃処理費用の業者委託予算は155万円。その内86万9000円を東岐波・西岐波海岸のごみ処理で執行。予算残68万1000円は今後、ごみ収集・運搬や市で処理できないごみを業者に処理委託する予定。

**Q** 令和3年度が2か所で約2110万円、令和4年度が2か所で約2500万円。令和5年度は2か所施工中で費用は約1200万円の見込み。

**Q** 令和3年度が2か所で約2110万円、令和4年度が2か所で約2500万円。令和5年度は2か所施工中で費用は約1200万円の見込み。



公明党 松岡 伸一

### オストメイトへの給付基準額の増額／不登校児童生徒に対する取組

**Q** 制度内容について

**A** オストメイトとは、人工肛門や人工膀胱を造設した人で、ストマ

用具としての畜便袋や畜尿袋の使用が必須となっている。対象となる方は311人で、半年毎に給付券を交付している。基準額は月額畜便袋8600円、月額畜尿袋1万1300円。



**Q** 不登校児童・生徒数の現状は

**A** 令和4年度は過去最高の331人となった。COCCOLOプランを受けての対策として校

内ふれあい教室を全ての中学校と、令和5年度から小学校2校に設置した。

**要望** 保護者の不安感を払しょくするためにも、学校からの情報発信を積極的に行ってほしい。担任や学校ごとの取組の違いで、

**Q** 基準額の増額について、どう取り組むか。

**A** 事業開始から変わっておらず、当時と比べて社会情勢も変化している。他市の状況を踏まえ検討を進める。

**要望** 17年前と同じ額では負担が大きいため、今の社会情勢に見合った給付の拡充を要望する。

登校に向けて非常に有効であり、小学校の設置校の早期拡大を要望する。



清志会 直宅 宣昭

### 宇部アーバンスポーツフェス/子ども読書活動について

**Q** 9月にバルクール日本選手権を中心に開催された宇部アーバンスポーツフェス・トキワス

トリートの実績、効果、反響点及び今後の取組について

**A** 2日間市内外から2万4000人の観客が訪れて「中心市街地の活性化」や「若者世代の獲得」の大きな足がかりとなった。SNS等の総閲覧数は12万を超え、20を超える媒体に取り上げられ、本市の認知度向上が図られた。経済波及効果は約1億3000万円となっている。ほとんどの来場者は本イベントに満足しており、次回以降の開催に期待が寄せられた。一方で、様々な世代が参加できるイベントの開催を期待する声も多く、

世代を問わず気軽に参加できるイベントの充実ができるイベントの充実ができる。

**Q** 事業承継の取組及び成果について

**A** 民間の調査会社が令和5年に調査したところ、山口県内の後継者不在率は60・3%と全国平均の53・9%より高い。令和3年度から県の事業承継・引継ぎ支援センターと連携した相談会を定期的に実施し、助言や事業承継計画書の策定支援をしている。その成果は相談会に13社が参加され、内2社が計画書の作成を行っており、8社についても譲渡先とのマッチング中で、事業承継の伴走支援を行っている。本年度に実施した事業承継のアンケートは、市内企業の経営者が55歳以上の778社に実施し、149社から回答。回答率は、19・2%。

**要望** 雇用の創出は簡単には出来ないのが現実。地域を雇用を守るために、現金の取り扱いに注意を払ってほしい。



令心会 早野 敦

### 事業承継の取組及び成果について

**Q** 事業承継の取組及び成果について

**A** 6000社程度の事業所があり事業承継にはかなり時間がかかるので企業訪問を実施して十分にこれを説明し、事業承継支援を進めてほしい。

**Q** 市職員による生活保護費の横領について

**A** 事件が起きた原因は、現金を取り扱う業務を一人に対応しその業務の事前事後の相談・報告がないまま職員が必

要な事務処理を行わず上司の進捗管理もできなかったこと。事件後は現金の窓口払いから口座振替への切り替えを推進しており、現金をとり扱わないよう取り組む。



チーム創生 岩村 誠

### アートによるまちづくりについて

**Q** まちを彫刻で飾る運動の成果・課題、今後の取組は

**A** 現在では、UBEビエンナーレの受賞作品を中心に、ときわ公園に100点、学校や市内随所に約100点の彫刻を設置し、まちの景観の向上や生活空間で芸術を鑑賞できる、うるおいのあるまちづくりに寄与しているものと考えています。一方で、彫刻を目指して来訪する観光客は多くなく、集客力は高いとは言えない状況です。また、設置した作品を適切に維持管理するためには継続的に少なくない経費が必要などの課題があります。今後は観光コンテンツとして、効果的に内外にプロモーションし、誘客につなげることで、資金も獲得しながら持続的にマネジメントしていきます。

**Q** UBEビエンナーレの成果・課題、今後の取組は

**A** 2022年に開催した第29回展では、過去最高となる来場者を記録し、開催を追うことに来場者が増加しています。また、作品応募数、海外からの応募数も増加傾向で、国内外から注目されるような魅力的なコンクールへと成長しています。しかし、展覧会の開催のみでは集客力に限界があり、新たな魅力を付加していく必要があります。今後の取組としては、効果的なプロモーション活動により、話題性を高めることで全国的な認知度の向上と市民の彫刻に対する理解と愛着を深めていくとともに県外及び海外からの誘客を図っていきます。



公明党 鴻池 博之

### HPVワクチンのキャッチアップ接種について

**Q** 子宮頸がんの予防を目的とした、HPVワクチン接種の積極的勧奨差し控えの期間に、定期接種の情報が届かず対象年齢を過ぎてしまった女性に対して実施されているキャッチアップ接種について、実施期間が約1年を残すところとなった。最終年度を迎えるにあたり本市のキャッチアップ接種の状況は

**A** 定期接種の対象である3回の接種を終了しないまま対象年齢を過ぎた方に対しては、国の方針に従い、令和4年度から6年度までの3年間、キャッチアップ接種を実施している。対象者のうち、3回の接種を終了した人の割合は、令和4年度は5.6%、令和5年の4月から10月までは3.4%であり、年間に換算すると、令和5年度は5.8%を見込んでいる。

**Q** 接種の促進に向けた取組は

**A** 子宮頸がん罹患リスク、ワクチン接種の意義や効果、安全性に関する情報を市ウェブサイトに掲載するとともに、令和4年5月には、国が作成したリーフレットを個別送付した。また、令和5年6月には、新たに対象年齢となった人を含む未接種者全員に対して、はがきによる個別勧奨を実施した。また、キャッチアップ接種の最終年度となる令和6年度は、未接種者に対し、はがきによる個別勧奨を行うとともに、令和7年3月のキャッチアップ接種を終了前に必要回数の接種を終えられるよう、9月頃に2度目の個別勧奨を実施する予定。



チーム創生 城美 暁

### 形骸化したPTA組織の改革を

**Q** PTA組織の課題は

**A** 共働き世帯の増加等により、以前に比べて活動への参加者が減少し、活動の停滞が懸念されることや、役員をはじめ、一部の会員に負担が偏りがちなことが挙げられます。

**Q** 今後もほぼ100%加入が続くと考えているか

**A** 課題をこのまま放置すれば、加入率の減少が起きたり、いずれは組織を解散するPTAが出てくる可能性があります。学校からは運営方針の説明や運営上の課題などを提示し、議論を重ねながら解決に向けて一緒に活動すれば、保護者を「当事者」とすることができ、PTA組織の活性化にも繋がる。

**提案** 現在のPTA組織は形骸化し、多くの会員がその活動に意義を見いだせなくなっている。一方で、今の保護者は学校運営上の当事者にもなれておらず、教員との距離は年々広がっている。組織の改革が進むよう、教育委員会として適切な支援を望む。





清志会 笠井 泰孝

### ふるさと納税制度の改正 に対する市の対応について

**Q** 政府がふるさと納税の寄付金の地方取り分を50%確保するよう通知したが市の対応は

**A** 国の基準で寄付金額の5割以内とされている募集費用に新たにワンストップ特別事務や寄付金受領証の発行などの経費が含まれることとなりました。このため返礼品に対する寄付金額について見直しを行なっています。宇部市ならではの特産品や体験型商品など魅力的な品目の増加に取り組んでいます。

**Q** ワンストップ特例事務とは

**A** 1年間に5つの自治体以内であれば確定申告しなくても税控除が受けられる制度です。

**Q** 市民が他の自治体にふるさと納税された場合に自己負担分2000円を除く金額が所得税



令心会 木原 大介

### 宇部市役所窓口開設 ときわ動物園の運営やクルーズ 船誘致の方針について

**Q** 宇部市役所窓口開設時間を短縮させ、職員負担を軽減させること

**A** 今後は、窓口受付時間の短縮の検討と併せ、テクノロジー等を活用した手続きや相談に関する新たなサービスの提供など、市民の利便性向上のための方策についても検討を進めていきます。

**Q** ときわ動物園はこれまでの取組を検証し改善する時期に来ている。体験学習館は休憩所にするという話もある。

**A** ①開閉園時間、②体験学習館の活用、③ふれあい動物広場拡張工事の現状と課題及び今後の方針は



清志会 西村 享平

### 休日・夜間救急診療所/ TOKIWAファンタジアについて

**Q** 救急体制と現在の診療所の体制について

**A** 宇部市休日・夜間救急診療所は初期救急に該当している。平日夜間は、小児科を、日・祝日は小児科、内科及び外科を開設、祝日・振替休日等には、歯科を、大型連休には、眼科、耳鼻咽喉科を開設している。

**Q** 診療所の運営上の課題は

**A** 医師の高齢化や若手医師不足が進み、その他スタッフも含めて診療所を担う人材が不足している。そのため、平日夜間の小児科以外の初期救急の診療体制が、難しい状況が続いている。



無所属／参政党 三好 保雄

### 新型コロナウイルス健康被害救済の仕組みづくり／学校給食について

**Q** 新型コロナウイルス健康被害救済の仕組みづくり／学校給食について

**A** 9月からの秋接種。

**A** 12月4日現在。12歳以上22・2%、5歳から11歳2・6%、生後6か月から4歳0・7%。

**Q** 接種から一定期間経過後の体調不良者の状況を伺います。

**A** 医療機関からの副反応疑い報告書の提出件数は、51件となっています。それ以外の体調不良者の人数やその状況についてはの実態は把握していません。死亡者数、救急搬送者数の増加とコロナワクチン接種の因果関係を把握することは困難です。

**Q** 接種から1年以上経過してからの体調不良もあり、厚労省発表の各種予防接種健康被害救済制度での新型コロナ

ワクチン接種による認定件数の増加が著しく、ロット番号ごとの死者数も発表されています。

救済のための宇部市独自の第三者検証委員会の設置はできないか伺います。

**A** 国の行動計画を注視しつつ市でも新たな行動計画の見直しを進め体制を整えていきます。

**Q** 学校給食での有機農産物の使用についての調査結果など。

**A** 他市の先進実施例を調査しましたが、食

材の安定的な調達量が確保できず、学校間の公平性の面で課題があり、現時点では困難です。ぶどう糖果糖液糖などの食品添加物を使用した調味料、加工食品を使用していますが、食品衛生法上の安全は担保されています。

の安全は担保されています。

## 玉川ポンプ場施設見学会

玉川ポンプ場の令和6年4月からの供用開始に先駆け、市議会議員で施設を見学することとなりました。

○日時 令和5年11月13日(月) 午後1時30分

○概要 新しいポンプ場につながるシールド管は3500mと2200m、老朽化した栄川ポンプ場と鶴の島ポンプ場の機能を統合したものと

なります。排水ポンプは、災害時にも確実に稼働するよう、原動機やサブポンプが設置されており、稼働時の騒音対策として、地下に設置されたポンプ設備は防音壁で囲まれています。

今回のポンプ場統合により、災害時の排水の確実性が高まったほか、新たなシールド管ができたことにより、近隣の浸水被害の軽減も見込まれるとのことでした。



### 【本会議で賛否が分かれた議決事件】

(○=賛成、×=反対)

議案番号	議決結果	清志会				令心会				公明党				共産党		誠和会		チー△創生		無									
		河崎運	笠井泰孝	林豊廣	真宅宣昭	西村享平	猶克実	志賀光法	芥川貴久爾	早野敦	青谷和彦	木原大介	鴻池博之	新村秀雄	甲谷理温	松岡伸一	荒川憲幸	時田洋輔	五十嵐仁美	浅田徹	重枝尚治	山下則芳	吉松剛	唐津正一	岩村誠	射場博義	城美暁	三好保雄	
87	令和5年度宇部市一般会計補正予算(第9回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
102	宇部市都市公園条例中一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
106	宇部市総合福祉会館に係る指定管理者の指定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
107	宇部市多世代ふれあいセンターに係る指定管理者の指定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
108	宇部市障害者生活支援センターに係る指定管理者の指定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長(山下 節子)は採決に加わりません

※党派名の略称は次のとおり 公明党=公明党宇部市議会議員団、共産党=日本共産党宇部市議会議員団、無=無所属(会派に属さない議員)

# 予算決算委員会

委員長 猶 克実 副委員長 岩村 誠  
委員 議長を除く全議員

令和5年度一般会計補正予算（第9回）等の審査の概要報告

12月12日、前期全体会において関係部局から概要説明を受け、14日の各分科会で慎重な審査を経て、20日の後期全体会において全ての議案等を可決または承認しました。

内容の一部を説明します。  
一般会計補正予算については、歳入歳出ともに、国・県支出金などの財源の確定による補正と、障害福祉サービスの負担金や医療費扶助経費の本年度の見込み額などによる補正と、人事院勧告による職員給与費等の経費確定見込みによる補正です。

総務財政分科会において

- Q** 文書管理経費の補正の内容は
- A** コピー用紙の単価上昇率が1・24倍になり341万9000円の補正です。
- Q** 市税証明コンビニ交付事務経費の補正の内容は
- A** 当初見込みが月に350件の想定が、10月末までの実績から毎月500件を見込んでいます。

次に、文教民生分科会において

- Q** 学校給食費の124万円の補正の内容は
- A** 本年9月の学校給食センターでの金属片確認による給食の中止により、非常食3700食分提供しそれを補充するためです。

- Q** 給食用非常食の保存期限が切れた場合の対応は

- A** 給食用非常食は、停電等の不測の事態に備え、学校給食センターに4000食分を備蓄しており、保存期限切れ前のものは学校の防災教育で使用しています。



- Q** 社会福祉費のうち社会事業基金積立金への寄附金203万円の繰り入れ補正について基金の運用実績は

- A** はつらつ健康ポイントなどの健康づくり事業や障害者支援等、寄附者の意向に添えるように運用しています。



次に、産業建設分科会において

- Q** インバウンド誘致助成金の内容は
- A** 台湾及び韓国から山口宇部空港へのチャーター便の運航に当たり、インバウンド誘客

に向けてバス代などの新たな助成制度を創設するためです。



一般会計以外では、宇部市介護保険事業特別会計補正予算、宇部市国民健康保険事業特別会計補正予算、宇部市後期高齢者医療特別会計補正予算、宇部市農業集落排水事業特別会計補正予算、宇部市水道事業会計補正予算、宇部市交通事業会計補正予算、専決処分の議案等がありました。

補正予算については、いずれも国・県の支出金の確定と年度内の歳出見込みに合わせて補正する予算です。



専決処分の内容は、令和5年度住民税非課税世帯等物価高騰支援給付金（7万円追加分）について、国が定めた基準日（12月1日）に合わせて、申請・支給の準備を早めるための市長の専決処分であり、委員会で承認されました。

以上が、予算決算委員会に付託された一般会計補正予算外7件の議案審査の概要です。

## 産業建設委員会

委員長 早野 敦 副委員長 山下 則芳  
委員 荒川 憲幸／射場 博義／笠井 泰孝  
木原 大介／新村 秀雄／林 豊廣  
三好 保雄

本委員会には、議案第102号宇部市都市公園条例中一部改正の件外3件について付託され、いずれも全会一致で可決されました。

主な内容と審査の過程での質疑は次のとおりです。

### ○議案第109号宇部市メディカルクリエイティブセンターに係る指定管理者の指定の件

これは、宇部市メディカルクリエイティブセンターの指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、市議会の議決を求めるものです。

**Q** ここに入居する企業について、入れ替わりがあるということであるが、それぞれの企業がしっかりと目的を果たされて退居されているのか。

**A** メディカルクリエイティブセンターについては、平成15年度から令和5年11月末までに累計で21社の企業が入居されており、令和4年度末までに104件の商品化と事業化につながっている。

**Q** 指定管理者の候補者選定の審査結果について、満点ではない項目があるが、満点に近づけるための改善策を市が指導するのか、それとも自己努力なのか。

**A** 当該団体と連携を図りながら、施設の適正な管理運営について改善に取り組んでいる。

質疑の中で、長い期間同じ団体を単独指定されているが、前回の審査結果において点数が低かった項目の改善を、今後図っていく必要があるのではないかと指摘がありました。

●そのほか、「議案第102号宇部市都市公園条例中一部改正の件」

「議案第110号工事請負変更契約締結の件（宇部市新庁舎2期棟新築（電気設備）工事）」

「議案第111号工事請負変更契約締結の件（宇部市新庁舎2期棟新築（機械設備）工事）」の説明と、

「宇部市産業振興計画推進委員会の開催状況について」

「農業振興地域整備計画についての報告」

「楠こもれびの郷くすくすの湯について」

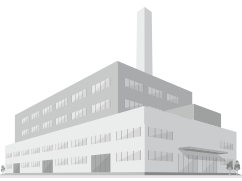
「宇部市営住宅審議会の開催状況について」

「宇部市都市計画審議会の開催状況について」

「宇部市多文化共生推進ビジョン策定委員会の開催状況について」

「宇部市石炭記念館あり方検討委員会の開催状況について」

の報告があり、協議しました。



## 総務財政委員会

委員長 城美 暁 副委員長 青谷 和彦  
委員 唐津 正一／河崎 運／甲谷 理温  
重枝 尚治／時田 洋輔／西村 享平  
松岡 伸一

本委員会には、議案第94号宇部市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件外3件について付託され、いずれも全会一致で可決されました。

主な内容と審査の過程での質疑は次のとおりです。

### ○議案第98号宇部市基金の設置、管理及び処分に関する条例中一部改正の件

これは水源かん養基金の運用状況等を踏まえ、当該基金の効果的な活用が見込めないため廃止するものです。

**Q** 当該基金の現状は

**A** 当該基金は山陽自動車道の整備基金を原資として、その後令和4年度まで水道局から有収水量1立方メートル当たり1円という形で積み立てており、令和4年度末で2億8000万円程度の残高があり、令和5年度は水道事業の経営状況等を鑑みて一旦積み立てを休止している。以前は、2000万円を超える金額を取り崩して森林施業に要する経費等に充当していたが、近年は、小学生向けの環境学習や水源探訪など啓発活動に要する経費での少額な活用にとどまっている。

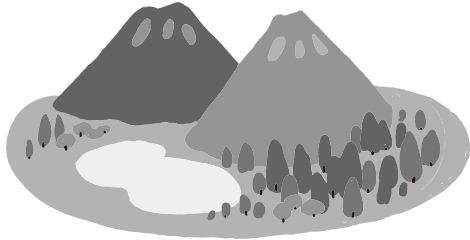
## 文教民生委員会

委員長 鴻池 博之 副委員長 浅田 徹  
 委員 芥川貴久爾／五十嵐仁美／岩村 誠  
 志賀 光法／直宅 宣昭／猶 克実  
 吉松 剛

**Q** 当該基金廃止後の残額を森林環境整備基金ではなく、財政調整基金に積み立てる理由は  
**A** 原資である山陽自動車道の基金約3億6000万円に対して、現在の水源かん養基金残高が約2億8000万円であるので、一般財源の剰余金として整理している。

**Q** 今までの水道局からの積み立てに対する同局への返還の必要性は  
**A** 水道局がこれまでに毎年1700万円から2000万円程度積み立ててきた金額以上に、当該基金を使用しており、当該基金残高が原資より減少している状況なので、同局と事前に調整をして、財政調整基金に充てることとした。

その他、宇部市公文書等管理条例検討委員会について、宇部市DX推進計画に関して、公共施設の包括管理委託について、うべ未来エネルギー株式会社の経営状況について、宇部市行財政改善委員会の開催状況についての報告がありました。



本委員会には、議案第99号宇部市体育施設条例中一部改正の件外9件について付託され、審査の結果いずれも全会一致をもって可決しました。主な内容と審査の過程での質疑は次のとおりです。

○議案第101号宇部市印鑑の登録及び証明に関する条例中一部改正の件

これは電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正等に伴い、スマートフォンを利用した多機能端末機による印鑑登録証明の交付を可能とするため、所要の整備を行うものです。

**Q** スマートフォンによるコンビニ交付サービスの具体的な申請方法は  
**A** 現在、コンビニ交付による証明書発行については、マイナンバーカードを多機能端末機にかざし、暗証番号を入力することにより行われているが、この度の改正によりスマートフォンにマイナポータルアプリからスマートフォン利用者証明用電子証明書を設定し、スマートフォンを多機能端末機にかざすことで、証明書発行が可能となる。

○議案第104号宇部市渡辺翁記念会館に係る指定管理者の指定の件及び議案第105号宇部市文化会館に係る指定管理者の指定の件

これら2議案は、渡辺翁記念会館及び文化会館の2施設の指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により市議会の議決を求めます。両議案は関連がありますので、一括して審査を行いました。

**Q** 令和6年1月からの改修工事により休館する宇部市文化会館の指定管理者の業務内容は  
**A** このたびの両施設の指定管理候補者は、施設休館という特殊な事情に鑑み、適切な管理運営を行っている現行の財団に任せることが適当であるため、引き続き同財団を選定するところである。また休館中の業務については、設備等の保守点検等のほか、休館中の当館の代替施設への案内や令和8年度開館に向けた受付業務等である。



その他、健康福祉部より宇部市障害者福祉プラン・第4期特定健康診査等実施計画・第9期宇部市高齢者福祉計画・第二次宇部市自殺対策計画の策定に伴う進捗状況や宇部市地域密着型サービス運営委員会の開催状況、また、市民環境部より宇部市新火葬場整備運営事業の進捗状況等についての報告がありました。

# 総務財政委員会行政視察

令和5年10月30日(月)・31日(火)

## ●東京都立川市の市史編さん事業について

立川市は人口約18万4000人で、一般会計の予算規模も約790億円であり、宇部市の人口及び予算規模とも近いが、人口密度は約13倍と面積は小さい市である。

平成27年度に予算計上し、市史編さん事業がスタートした。市史編さん専門の広報紙を年2回、年間3000部発行。事業期間の10年間で25冊の市史の刊行を予定している。

立川市は周辺に大学が多いため、専門的な知識を持った人材で委員会を構成できることや大学生の協力を得られるなど、環境的なメリットが大きい。資料収集にあたっては、市民へ広報紙を通じて協力依頼を行っているほか、近隣の市町からも資料を探している。

資料探しのため、飛び込みで市民のお宅を訪問した話など、市史編さんに対する熱意を感じた。事業成功には、市民への周知と協力が不可欠なことを学んだ。

## ●静岡県浜松市の施設再配置計画策定について

浜松市は平成17年に12市町村が合併し、全国で2番目に大きい面積(面積/約1558km<sup>2</sup>)となった。人口は約78万人。7区ある行政区を令和6年1月に3区に再編する予定。

施設再配置計画の内容については、平成27年ま

でに439施設を削減、維持管理費は年間約5億円の減、財政効果額は今後の50年間で約千百億円を見込む。閉鎖、管理主体変更、譲渡、貸付、複合化、統廃合、ダウンサイジング、遊休資産の活用、民間活力の導入など様々な取組を行っている。宇部市と自治体規模が大きく異なるが、建物では耐用年数80年を目指した再配置・統合が行われていた。長期的視点に立った資産経営は参考にしたい。

## ●静岡県浜松市の広報活動について

浜松市は、市民が市政情報を得る機会をできるだけ増やすことを念頭に多様な媒体(紙面、報道、SNS)を活用した広報を実施している。人口に対するSNSのシェア率はLINEが最も高く約54%で、Xが2・7%、Facebookが1・5%などとなっている。10〜20代の登録者数が少ない。LINEを活用し、手続きに関する質問に自動で回答する「チャットボット」機能を設け、サービスの向上を図っている。市民サービスの向上、デジタル化推進のため、令和3年度から専用ウェブサイトの開設とアプリでの配信サービス「広報プラスはままつ」を導入したが、アプリは有償ということもあってか、ダウンロード率は人口に対して0・9%に止まっている。今後、アプリの認知度と利用者の増加が課題。

生活様式の変化、市民ニーズ等の検証を重ねながら、様々な方法で情報発信を行うことの必要性について学んだ。



# 文教民生委員会行政視察

令和5年11月8日(水)・9日(木)

## ●図書館の充実に関する調査について

本市の図書館は、宇部市立図書館リニューアル基本計画に基づきリニューアル工事に着手するため、次の2施設について先進事例として、視察・調査を行いました。

### (大阪府大阪市)

大阪市の「こども本の森中之島」は建築家安藤忠雄氏の設計により、建物内の3フロアの壁がすべて本棚になっています。本棚の中央から上は本の表紙が正面に来るように配置しており、子どもたちが本に興味を持ちやすくなるような工夫が施されています。本棚も「自然と遊ぼう」「動物が好きな人へ」等独自の12テーマに分け、絵本から小説、図鑑まで様々な種別の本が1つの棚に収められていました。

### (大阪府守口市)

守口市立図書館は令和元年に地域の新たなランドマークとしてリノベーションされた際、「集い、学び、交流する」地域コミュニティ、生涯学習施設と複合した滞在型図書館として建てられました。約20万冊の蔵書は全自動化された貸出・返却・予約サービスによって管理され、スタッフの業務はレファレンスなどの利用者対応が中心となっています。4階からなる施設はコンサートや学習等もできるフロアや、スタジオやプラネタリ

ウムを改造した円形ホールなど、市民の様々な活動の拠点となるようになっていきます。「地域に根差した図書館ならではの事業の実施」をコンセプトに地元の絵本作家の原画展や、イオンモールと協力しての絵本ライブ等が行われています。交流スペースと学習スペースが近接しているため、声等が響くこともありませんが、有料スペースや会議室を学習スペースとして貸し出すなど、臨機応変に対応しているとのことでした。

●**こども・若者ケアラー支援事業に関する調査について**

(兵庫県神戸市)

本市においても、課題となっているヤングケアラーの支援について、全国的にも先進的な取組を進められているため、今回の視察では、その取組の現状や成果について調査を行いました。

神戸市では18歳未満の子どものだけでなく、20代の方も含めて「こども・若者ケアラー」として支援が進められています。人生の土台作りよりも家族等のケアが優先されてしまうケアラーを支援するため、福祉局、こども家庭局、教育委員会事務局等複数の部局をまたいだプロジェクトチームを立ち上げ、関係者のヒアリング、相談・支援窓口の設置、交流と情報交換の場の設置、身近な方々への理解の促進に取り組んでいます。また、ケース毎に支援会議を開催することでケアラーの負担が軽減されるケースも出ているとのことでした。



## 産業建設委員会行政視察

令和5年11月7日(火)

●**福山駅周辺デザイン計画について**  
(広島県福山市)

福山市は福山駅前再生ビジョンに掲げる「働く・住む・にぎわいが一体となった福山駅前」の実現に向け、行政と民間が行う具体的なソフトとハードのプロジェクトを定めた官民連携の計画「福山駅周辺デザイン計画」を策定されています。これは福山駅前再生の基本計画として、エリアビジョンやウォークアブルエリアを定めています。

○**福山駅周辺デザイン計画**

従来のまちづくりは、「計画する↓つくる↓使う」というプロセスで行われています。福山市では、これとは逆のプロセスをたどり、福山駅前アクション会議などに参加する市民や事業者など実際にまちを使う人が考え、実験を行い、それを計画に結びつけていくというプロセスで策定されました。

○**エリア価値を高める経済循環**

福山駅周辺を4つのエリアに分け、それぞれのエリアの特性を生かした魅力と特徴のある将来像（エリアビジョン）を示されています。このエリアビジョンに沿った良質な民間投資を呼び込むことで、駅周辺に性格の違うエリアを形成し、人々

の価値観や目的に応じた行き先の選択肢を増やす取り組みをされています。これは福山駅周辺に都市機能を集積させることやにぎわいを生むコンテンツを創出する公共空間を形成することで、ウォークアブルなまちを形成し、エリア価値を高めていく経済循環の再構築を目指されています。

○**福山市のウォークアブルなまちづくり**

公園や広場、建物の路面階、通りなどの空間を「居心地が良く歩きたくなる」ような、人中心の空間に転換することを通じて、多様な人材との出会い・交流を誘発し、人や企業を惹きつける都市を目指されています。

これらの取組により、各エリアの流動客数やイベント数、ウォークアブルな空間の割合などは着実に増加しています。

